

若い女性（AYA 世代）の健康支援制度の創設について

関東部会提出

女性が活躍する機会を最大限に活用し推進していくことは、経済的なメリットだけでなく、創造性・イノベーションによりビジネスや社会に新しいアプローチをもたらし、持続可能な発展と社会全体の進歩にもつながると期待されている。

「健康支援」というと中高年以降のイメージが強くあるが、女性の場合、特に AYA 世代（15 歳～30 歳代）の健康支援については、妊娠、出産、そして将来的な健康に関連する重要な決定をする可能性が高いことから、包括的な支援が必要である。乳がん、子宮がん等の病気予防だけでなく、女性ホルモンの視点からの健康支援は、女性の生涯にわたる健康と幸福に寄与する重要な要素となる。女性ホルモンの変動はメンタルヘルスに影響を及ぼすことがあり、さらに栄養とライフスタイルは女性ホルモンに影響を与える要因となる。

健康教育プログラムの提供、健康的なライフスタイルの促進、プレコンセプションケア等（妊娠・出産・妊孕性・生殖医療も含む）に関する正しい情報提供及び啓発とサポート、心理的な健康サポートなど、若い段階からの啓発・体制整備は、充実したライフプランを考える上で重要である。

個々のニーズに合わせたケアを提供し、女性が自分自身の健康とキャリアのバランスを取りながら、自己実現を果たせるサポートとして「若い女性（AYA 世代）の健康支援制度」の創設について要望する。